



山形県空手道連盟 武道優良団体表彰受章

武道修業の出発に当たる年頭行事として行われる「鏡開き」に際し、武道優良団体表彰を受章しました。

※以下は、受賞祝賀会で飛鳥会長が挨拶された内容を掲載いたします

この表彰は毎年一回、武道九団体から振興発展に顕著な活動があつた一団体、一個人を対象として顕彰されるもので、さしたる業績もない当県連が全国的なレベルの中で着目されたことは心中忸怩たる思いもありますが、昭和四十年十一月の設立以来、組織の充実強化を図り、地道な活動と、お互いを大事に思う気持ちを基本に据え、着実な運営

このたび 一月十四日の
日本武道館「鏡開き」に際し
当山形県空手道連盟が日本
武道協議会から平成十九年
度武道優良団体表彰を頂戴し
本席のご案内を差し上げま
したところ、山形県教育長
様を始めご来賓の各位には
公私共にご多用のこところご
臨席を賜り誠に有難うござ
いました。また、役員会員
各位には、かくも大勢のご
参加を得てこの会を催しま
すこと、共に心から慶びと

高橋和雄先生を始め、以前に事業運営の執行を担当された先生方のお力添えがあったことを忘れてなりません。ここに深甚なる感謝の意を表する次第であります。

かと思えば、大変名譽なことにあり、ご推挙いたしました財団法人全日本空手道連盟のご優渥に感謝いたしております。

さて、連盟結成以来ご指導をいただいた初代会長の高山四郎先生、第二代会長の板垣誠一郎先生を始め、既に鬼籍に入られた方々が居られます。物故役員諸先生のご靈前に謹んでこの受章をご報告いたします。また

ご参加役員のご奮励に期待するのは勿論ですが、ご臨席のご来賓、顧問の先生方には、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願いしますてご挨拶といたしました。

み出した結果に他なりません。
しかし、四月に開設する「ホ
ームページ」の作成、同じく「小中学生指導書」の発
刊など、残された課題も多々
ありますが、この受章の名
に恥じないため、空手道の
修練を通じて一層人間性の
向上と技量上達を目指し、
後進の育成の精出し、更な
る前進をもって大きく雄飛
するため、一丸となつて邁
進しなければなりません。

「一人の百歩より、百人の一歩を」という言葉がありますが、正に全役員が共に手を携えながら一步を踏

など、常に前向きな施策を心掛けて取り組んできた道程に、誤りはなかったと確信いたしております。

る天皇皇后両陛下の行幸で
高覧の栄に浴し、チームも
九種目中五種目に優勝、当
時の新記録得点をもつて男
女総合優勝を飾り、競技運
営も大成功を納めました。

他には、全空連会員制度
の推進、機関紙「ネットワ
ーク」の発行、小中学生の
競技力向上を目的とした「樹
木杯ジュニア大会」の開催

平成20年2月2日(土)
会場／山形グランドホテル

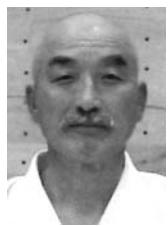
受章祝賀会が 開催されました



山形県空手道連盟総会開催！

とき／平成20年2月3日(日)

場所／県スポーツ会館



普及本部長 菊地健治

平成20年度総会は、鹿野道彦顧問、飛鳥会長、齋藤・田鎖副会長の出席のもとそれぞれの事案について、理事長・事務局関係者より説明が行われ、活発な質疑のあとついで異議なく承認されました。特に、前日に開催された武道功労賞受章記念祝賀会が各加盟団体・関係者の協力の下、成功裡に終了できた事に対し御礼の報告が行わされました。

また諸事項として、本年度は役員改選の年となり、先例により役員選考委員会を設置して選任する事で承認。選考委員には、会長副会長、常任相談役、理事長、副理事長、地区代表の理事役員など16名が指名され、選考結果は、齊藤英雄選考委員長より報告され全員一致で承認可決されました。

新しく役員体制として、井原会長が留任。工藤清理事長は副会長に新任。斎藤・小口・田鎖の各副会長が兼任。現相談役は全員留任、阿部信行常任理事は常任相談役に新任、新理事長には深瀬久雄副理事長が新任。新設の事務総長には、斎藤副理事長が選任。また各専門部は本部長制となり全部長が変わるという大幅な役員改選となりました。

新任のご挨拶



理事長・本部長
深瀬久里

会員一人人が「自覚と責任」を持つ稽古、指導に励んでいただくよう期待します。



事務総長
斎藤知行

この度の県連総会において
事務総長へ一文大役を仰せられ

このたび開催されました山形県空手道連盟総会におきまして、工藤理事長の後任として理事長に就任いたしました。ネットワークの話題をおかりして一言ご挨拶を申し上げます。

今年は4年に一度のオリンピックが中国の北京にて開催されます。スポーツは多くの人々に感動と勇気を与えてくれます。残念ながら我々の空手道はまだオリンピック種目ではありませんが、世界のKARATEは着実に参加をめざして前進しており、近い将来必ず正式種目として認められることを信じております。山形から立派なオリンピック選手が育つことを期待したいのです。今年の新しい事業として、かねてから準備しております県連盟のホームページを開設いたします。

主な内容として、県連盟の沿革、各種大会や講習会の実施要綱、大会の成績、行事予定などの年間計画、加盟団体観など会員の皆さん保護者の皆さん、関係者各位に対し本連盟の活動報告や情報を提供し、一人でも多くの人

深瀬久男

理事長・本部長

このページにしておきたらと思います。

今年の県内での大きな大会として、8月23日・24日の両日東北総合体育大会、空手道競技会が天童市スポーツセンターで行われます。ここ3年間は総合成績で3位、3位、4位と十分な力が発揮されておりません。原因として成年男女の選手層が薄いことと、団体戦での得点があと二歩です。それらを克服し今年は平成9年以来の総合優勝を目指して、強化練習はもちろん競技運営を含め連盟一丸となって取り組まなければなりません。

そのためにも今年は、将来の選手育成を目指してより「層」(ユニア層(特に中学生)の強化に取り組みたいと思います。その中から高校、大学、社会人となつて活躍する選手、指導者を育てなければ連盟の発展は望めません。一人が空手道普及、連盟発展のために自覚と責任を持つ稽古、指導に励んでいただくよう期待します。今後とも皆様のご支援とご協力ををお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。

この度の県連総会において事務総長という大役を仰せになりました。普及部長在任中は、ネットワークの発行、昇段審査の開催講習会の実施などにつきまして皆様方に格別なご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

事務総長の主な業務は、事務局の統括及び財務対策であります。連盟の財政についてでは、登録料、役員負担金・大会協力金などが主なものであります。それらの合計額は、平成19年度決算で20万円程度であります。連盟を運営していく上ではまだ未だ不足っております。

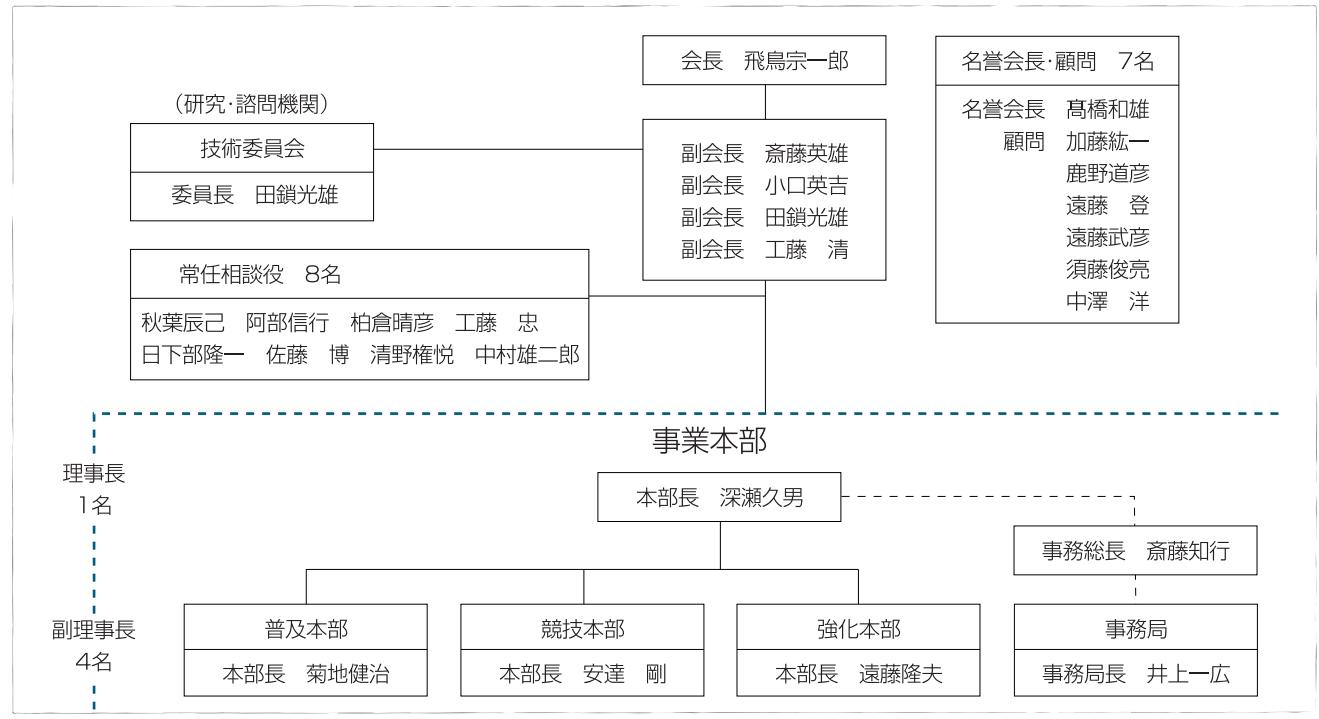
一方、各種上部大会において優秀な成績を上げるには、ジュニアから高校一般まで選手強化を図りながら、各種大会に向けて選手派遣を充実する必要があります。厳しい経済環境下にあります。が、連盟の財源確保に努めまいりますので皆様からもご協力をよろしくお願い申し上げます。

この度、普及本部長に任命されましたが、今まで強化・筋でやつて参りましたので、普及部の仕事をやりきれるのが多少の不安はあります。優秀なスタッフの力を借りてこの職を全うしたいと 思います。

普及部の方針としては、県空手道の底辺拡大と資格取得への取組をバックアップしてゆきます。なお本年度、普及部の重点事業は以下の通りです。

- 1、ネットワーク15号の発行
- 2、公認段位審査会の実施
- 第一回　5月11日(日)
- 東海大山形
(社会人大会終了後)
- 第二回　12月7日(日)
- 天童総合運動公園
(県公認審判講習会終了後)
- 3、技術講習会の実施
- 4月20日(日)
- 山形市総合スポーツセンター
(県公認審判講習会終了後)
- 4、県連木一ページ管理・運営
- 5、中体連加盟促進

平成20年度 山形県空手道連盟組織図



競技本部長 安達 剛

この度、深瀬競技部長の後任として競技本部長に就任致しました。私はこれまで強化部長として26年間選手の強化にあたり、これまで山形県から数多くの全国チャンピオンを輩出してきました。今後は、今までの経験を生かして、県内の審判員の技術向上の為力を尽へしていくかと思います。

選手が強化練習をするようになります。しかしながらの選手強化に鋭意取り組んで行きたいと思っております。

本年度 重点事業

- 1、県連主催の強化練習への参 加
- 2、各種大会への参加
- 3、県公認、東北地区、全国審 判官取得の促進



強化本部長 遠藤 隆夫

会を活用して経験を積むことが大切です。さらに大会での実践を目指しながら、審判員としての責任の大きさを自覚し練習していく必要がありま

す。また積極的な大会の視察や、審判員としての見る目を養い、審判レベル向上につながります。審判もむずかしい一面がありますが、形の講習会を実施し、審判レベルを上げていきたいと考えています。

以上のようなことを取り組み、競技部員はじめ審判員一同、さらに正確なジャッジをめざして、研鑽を積んでいきます。全空連公認三段、年令25才以上の方は山形県の審判員の資格を受験できますので、ぜひチャレンジしてください。選手の方々は、競技を通じてルール、マナーを守ること、礼を重んじる心、相手を尊重することを学んでいくください。勝つ喜び、負けるくやしさ、いろいろな経験を通して大きく成長されることを期待しています。

前強化部長安達剛先生の後塵を拝し新組織の強化本部長を仰せつかりましたが、昨年度まで県連強化部において14年間指導した経験を基に、決意を新たに県連盟の選手強化に努めて行きたいと思っており

ます。山形県チームの現況を分析すると、成年の部においては全く国規模の大会で入賞実績のある主力選手が現役を退き、今年度からは新チームの結成を余儀なくされており戦力的には大変厳しい局面に立たれております。しかしながらのような状況の中にあっても国体や東北大会では多くの選手が上位入賞を目指せるような選手強化に鋭意取り組んで行きたいと思っております。

次に形の選手の強化ですが、今まで県連強化部において14年間指導した経験を基に、決意を新たに県連盟の選手強化に努めて行きたいと思っており

ます。今年度より国体の形試合出場者は各部門各県1名から東北地区から2名に出場人数が制限されます。ここ数年国体での選手の入賞実績がない訳でありまして、本県選手にはさ

4、全空連公認3、4、5段位取得の促進

5、組手形の審判講習会の実施

ジュニア強化を掲げ10年。いよいよ
全国に通用する選手が育ってきた!

東北大会・全国中学生大会 県ジュニア選手大活躍。

2007年は、県ジュニア選手、中
学生が東北大会や全国大会で大活躍。
ジユニアの底辺拡大こそが県空手道の
発展につながる。ジユニア強化に取り
組んできた県連にとって、大きな一步
を踏み出した年となりました。
年々全国のレベルが上がる中、全国
中学生大会における戦績は左記の通りです。



▲第15回全国中学空手道選手権大会 開会式



■はまなす杯 第一回全国 中学生空手道選手権選抜大 会 2007年3月28日～ 30日 会場／北海道北広島 市総合体育館
○男子個人形第三位 十田 秀成(明倫中学校)第五位 伊藤雅人(舟形中学校)
■第15回全国中学生空手道 選手権大会 2007年8 月18日～19日 会場／千葉 県浦安市総合体育館
○女子個人形競技第五位 佐々木梓(明倫中学三年) ○女子団体形第五位 明倫 (年) 仙台丈子(年)
○男子団体形第五位 米沢 市立第二中学校チーム 石 井大喜(年) 鈴木陵太(年) 橋本愛香(年)

（年）木村洋稀（年）

ジュニア強化の課題と展望 底辺拡大と強化なくして発展はない

ジュニア強化担当 菊地 健治

私が山形県のジュニア層（特に中学生）の全国との格差を実感したのは平成十二年に大阪で行われた第四回全国中学生空手道選手権大会の時でした。

この大会に新庄市立日新中を率いて出場しましたが、形においてはそれ程の差は感じられなかったが組手に於いては格段の差を痛感させられたものです。その後ジュニア担当に任せられ、強化練習、遠征等を通じ強化を図ってきましたが一定の強化は実りつつあると思われます。

東北地区においては形、組手、男女ともにトップクラスに位置しています。福島、秋田の隣県との強化合宿練習を通じ、交流を深め、その延長線上で県連のバックアップを受け樹氷杯の立ち上げとなり一段とジュニア強化を後押ししていただいている。

平成十八年度にはまなす杯が北海道で開催され、本県からも上位入賞者を出してあります。又これまで全国中学生大会にも毎年の様に入賞者を出しています。ただ問題点は二つの大会とも形の入賞で全体的な底上げの結果ではなく一部の選手の活躍によりもたらされているという事です。

全般的に小学生で有望な選手でも中学生になると部活動の関係で空手から離れ、別の競技に向ってしまう現実はいまだに解決に到っていません。

その点、最上地区にて東北で初めて中体連加盟を果たしたことは、本県のジュニア強化において大きな転機になったと思います。この最上地区的中体連加盟に尽力された明倫中、三上元校長、日新中、吉田元校長の両先生にあらためて感謝の意を表したいと思います。そのきっかけとなつたのは平成14年の県ジュニア選抜大会の時でした。

当時日新中の校長の吉田先生が応援に行かれ、大会運営の素晴らしいと曰新中の生徒の活躍に感激されて、空手道の素晴らしさを認識したと云われ自ら中体連加盟を働きかけていただきました。

先生方に是非一度、県のジュニアの大会を観ていただくと空手に対する先入観が変るのではないか。県内において最上地区的他にもう一地区、中体連加盟を果たせば県中体連加盟となるのです。少子化が進む現在、金の卵の小学生が一人でも多く中学生になっても空手を続けられるように県連あげて取組すべきだと思います。ジュニアの底辺拡大と強化なくして県空手道界の強化と発展はなし得ないと強く思います。



右端が菊地氏▲

県連のジュニアを指導している団体の指導者の方にお願い

したいのは中体連加盟に向けて中学校の先生方に働きかけをしていただきたい事です。

「崇武館新庄支部」

みんなで切磋琢磨
しながら、仲良く
やりましょう！

「那武館新田技術部」
取材レポート

取材先となつた練習会場は、「わくわく新庄」バスケットコート。一面分の広さながら暖房完備の素晴らしい施設です。当日は、夜6時～小学生7時30分から中学生・高校・般の人たちが一緒に練習をします。

て指導に駆けつけてくれる。その情熱が子供たちに伝わり一生懸命練習を積むうちに今があるとの事でした。

指導にあたる菊地師範代▲

★武田支部長に
インタビュー

※平成15年には、全国中学生空手道選手権大会において日新中学が連続8回出場で表彰されています。



Q 現在の練習メニューは?

すべて父母会が中心となって開催してくれています。オリジナルカレンダーもあるんですよ。一年を通して子供たちの表情や活動内容を写真で紹介しています。新庄支部の団結の強さはこのような取組みからつくづくれております。

A 「みんなで切磋琢磨しながら仲良くやりましたよ!」
 というのが私の考え方です。仲が良いいといふ事を一番の基本にしてしまいます。

光る。強い子がさらに上手くなつたら、弱い子も一生懸命練習して追いつけば。その切磋琢磨の関係が新庄支部なんだ。と子供たちに伝えています。

やつてゐます。ジニアを観たりして自分で工夫して練習してみると、全国を経験していくので何かを掴みたって気持ちで田舎練習をやつてくる「すゞし」なつて私も感心します。

A 県連の中体連加盟です。県中体連ができるとまつと切磋琢磨して、いい選手が各地区で育つてくる。県連の底上げにもつながります。ぜひ加盟できるような動きを本気で取り組んで頂きたいと思います。

Q
県連に
すか？

望む事はあります

A black and white photograph of nine karate practitioners standing in a row. They are all wearing white gi uniforms and black belts. The individuals are of various ages and heights, and they are all looking directly at the camera. The background is a plain, light-colored wall.

▲これはスゴイ!新庄支部オリジナルカレンダー、門下生全員の活躍が写真で紹介されている。

ほぼフルタイムです。

水曜日は、幼稚園、小学校
低学年。木曜日は、小学校高

「嵐」

空手スポーツ少年団

「努力する心」「助け合う心」「思いやる心」

「嵐」取材レポート

空手スポーツ少年団「嵐」は、平成12年に大武政通氏が設立しました。もともとは、米沢三中空手道部が母体となっていましたが、当時クラブ活動を外部の団体に委託しようという行政の意向があり、新たに入会一ツ少年団として米沢市内全域に募集を掛けて小中学生53名の団員でスタートしたのが始まりです。

団員の募集は1年に1回限り。最大で40名を自ら会員数を維持しています。

なぜ常時募集しないのか理由

を尋ねると、目的は「[實]指導」。指導員不足もあり、随時入会していくと指導に差がでてしまふので、年掛けで指導するというのが方針だそうです。

クラス別週三回の練習で、この日も約40名の小中学生が練習に励んでいました。その場稽古から移動稽古への移行するときのきびきびした動きや気合、また指導を受けるときの態度や真剣なまなざしに、貴指導へのこだわりの成果が見えてきました。

現在、指導員は4名。大武師範

範以外の3名の指導員は、もともと子供と一緒に空手をはじめ、子供が卒業した後はそのまま指導員として「嵐」を支えています。余談ですが、級と六級を取得しているお母さんもいらっしゃるとの事、頼もしい限りです。

大会で上位入賞するために、子供本人はもとより、保護者、指導者が三位一体となっていなければ、難しいと感じるこの頃ではあります。空手の魅力に惹かれ、子供と一緒に汗を流す姿はとても微笑ましく感ります。

大武師範が指導する上で大切にしている心構えは、「努力する心」得意なことだけではなく、苦手なことにも努力する心、「助け合う心」困つている友達・仲間がいたらお互いに助け合う心、「思いやる心」やさしい気持ちで、みんなと接する心。

「下手くそ」でも良い。でも一生懸命が大切。技術よりも心が大切。私自身、空手を通して学んだ事は多く。子供たちに

は、「強じ心、くじけない心で強い人になつて欲しい」「結果は必ずついてくる。続ける事が大切なんだ」。そんな思いを、大武師範は、指導の折々で子供たちに伝えています。

大武師範にインタビュー

Q 全中で入賞したときの感想は?

A 「やったー」です。子供たちに「[實]褒美を貰つたきました。子供たちに感謝! ありがとうございます。」

Q 県のジュニア・中学生のレベルは?

A 平成12年ころの全国中学生大会に参加したときの印象は「届かないレベル」でした。ただ「わうちよいだー もうちよいだー」という気持ちで指導してきた「正直」今回もまだ届かないと思っていた部分もありました。わずか紙一重のところがまだ「足りないと感じています。

昨年の「はまなす杯」で感じたのは、山形の子はおとなしく、勝負に対する気持ちが弱い。それでは組手では勝てない。形では力が出せない。形では力が出せるが組手になると九州、大阪、四国などの西側にやられて



▲指導中の大武師範。自衛隊で空手を学んだのが始まり。

昨年の「はまなす杯」で感じたのは、山形の子はおとなしく、勝負に対する気持ちが弱い。それでは組手では勝てない。形では力が出せない。形では力が出せるが組手になると九州、大阪、四国などの西側にやられて

▲Q 嶋連に望む事はありますか?

A 大変でしようが大会を増やして欲しい。子供たちの練習の成果を活かせる場が多くあれば、励みになります。また練成大会のようには子供たちが一緒に介して練習する機会があれば、とても良い刺激になると

◆外は大雪。元気一杯の気合でした。



全国大会入賞者・東北大会優勝者インタビュー

**どんな練習をしているの？
何歳から空手を始めたの？
全国中学生大会・はまなす杯・東北大会で
入賞・優勝した選手に聞きました。**

- ① 空手はいつからはじめましたか？
- ② 空手を始めたきっかけは？
- ③ 練習はどのくらいしていますか？
- ④ 特別な練習はしていますか？
- ⑤ 入賞したときの感想は？
- ⑥ 得意な技・形は？
- ⑦ 好きな言葉は？
- ⑧ これからのお目標は？

「はまなす杯中学生選抜大会」男子個人形/3位・「東北大会」男子形/2位



土田 秀成

- ① 幼稚園年長
- ② 兄と姉が空手をやっていて練習を見に行つて一目ぼれしました。
- ③ 大会前は、ほぼ毎日1時間から2時間位
- ④ 腕立てや腹筋などの筋トレをしています
- ⑤ 優勝したかったので悔しかった
- ⑥ アーナン
- ⑦ 成し遂げる
- ⑧ 何事にも自分から挑戦したい

「はまなす杯中学生選抜大会」男子個人形/5位・「東北大会」男子形/1位



伊藤 雅人

- ① 小学校の入学前
- ② 親にすすめられて練習を見学にきてから兄と一緒に始めました
- ③ 全国大会の前は、近所の体育館を借りて練習していました。毎日一時間くらい。
- ④ 腕立て伏せや腹筋などの筋トレ
- ⑤ 毎日、大変な練習をしていたので正直、うれしかったです。
- ⑥ バッサイ大
- ⑦ 自分に負けない
- ⑧ 色んな事にチャレンジしたい。

「全国中学生空手道選手権大会」男子団体形/5位



鈴木 嶽太

- ① 小学校一年生から
- ② お父さんにすすめられて
- ③ 週に3回(月、水、土曜日)
- ④ 大会直前は、サーフィットトレーニングとお風呂で腹筋をやっています
- ⑤ 大きな大会で入賞ができるとうれしかった
- ⑥ 組手では、上段回し蹴り・形は、カンクウ小
- ⑦ 挑む
- ⑧ はまなす杯を目指して精一杯練習して入賞したい

「全国中学生空手道選手権大会」男子団体形/5位



木村 洋稀

- ① 小学二年生から
- ② お父さんにやってみないかとすすめられて
- ③ 週に3回(月、水、土曜日)
- ④ 風呂上りなどにストレッチやサーフィットを30分くらいやります
- ⑤ 自分の力を精一杯だして入賞する事ができてうれしかった
- ⑥ ワンツー・上段中段です
- ⑦ 全力
- ⑧ はまなす杯に向けて練習します
- 夏に団体をやるので精一杯やる

「全国中学生空手道選手権大会」女子個人形/5位・「東北大会」女子形/3位



佐々木 梓

- ① 幼稚園の年長冬から
- ② 親からすすめられて見学に行きました
- ③ ほぼ毎日。一日二時間くらい
- ④ 練習後、自宅で必ずストレッチをします
- ⑤ うれしかったんですが、三位決定戦の判定で旗が一本も上がらなかった事が悔しかった
- ⑥ チャターンヤラ・クーシャンマー
- ⑦ 感謝！特に指導いただいた先生に感謝
- ⑧ 高校でも空手をやりたいので高い目標を持ってチャレンジします

「全国中学生空手道選手権大会」女子団体形/5位



橋本 愛香

- ① 小学校一年生の終わりごろ
- ② いとこがやってて面白そうだったので始めました
- ③ みんなで毎日一日二時間くらい
- ⑤ 入賞できると思っていなかつたのでビックリしました
- ⑥ バッサイ大
- ⑦ 一生懸命
- ⑧ また団体で入賞できる様がんばります

※団体形入賞メンバーは：仙台士才、仙台丈子、橋本愛香の3名

「東北中学生選手権大会」男子形1位・組手1位



増川 亮輔

- ① 小学一年生
- ② お父さんにすすめられた 強くなりたかった
- ③ 週に3回(月、水、土曜日)
- ④ 学校から帰ったら走る 夜はサーフィットトレーニング
- ⑤ 今までの努力が報われ、自分を信じてきて良かったという嬉しい気持ち
- ⑥ カンクウ大
- ⑦ 「成せば成る」
- ⑧ 東北大会で再びW優勝できるようにがんばります

「全国中学生空手道選手権大会」男子団体形/5位



石井 大喜

- ① 小学二年生
- ② もっと強くなりたかったから
- ③ 週に3回(月、水曜日) 2時間、(土曜日)3時間
- ④ 体力づくり
- ⑤ うれしくてまたこれから頑張ろうと思った
- ⑥ 蹴り、カンクウ大
- ⑦ あきらめない
- ⑧ インターハイ出場で上位入賞

空手あれ談話(十)

「べにばな国体」の意義(二)

山形県空手道連盟会長 飛鳥宗一郎



はじめに――

昨年は、一大事業だった「べにばな国体」の準備段階を述べた。

携わった人たち

は自己犠牲を覚悟の上で、真剣な行動をもつて奔走され、大きな成功を呼び寄せた。

本年1月、日本武道協議会から「平成19年度武道優良団体表彰」を受けたが、「べにばな国体」の取り組みも評価の一つといつていいだろう。

終わって、「べにばな国体空手道競技大記念誌」を発刊し、記録にとどめたが、

強化対策と、その推移は次のとおり。

強化対策と、その推移は次のとおり。
①昭和58年度総会で長期的・短期的な強化方針を確認した。

②入区分として、初動期(57～59)、対策期(60～62)、鍛錬期(63～元)、仕上期(2～4)の四段階とした。

③対策本部長、専任コーチから監督へと指導の一貫体制を堅持した。

④県外遠征や他県招聘など、友好県や大学との交流を行った。

⑤年次選手構想、候補選手の複数配置、県外有能選手導入など、選手の有効配置を検討した。

⑥学校や職場の理解、専用練習場の確保、開催時練習場の確保など、条件整備に努めた。

⑦他県選手の、開催前3年間の戦力分析。

⑧選手の意識高揚、全県挙げての期待と必勝の雰囲気づくり。

⑨最終強化24か月体制とした。

強化方針と強化の進め方

あれから15年余を経過した。この事業を遂行した経緯を辿り、全員行動の本当の意味を認識し、それを風化させてはならない思いからこの項を書いている。

国体は、沖縄県(昭62年)をもつて全都道府県を一巡り、翌年の京都国体から巡回に入った。強化本部会議において、この年から男子監督・安達剛、女子監督・深瀬久男を「べにばな国体」まで固定し、強化方針に不備不足があればその都度修正を加えると決めた。

以後の経過の中でも、「べにばな国体」2年前の福岡国体における競技結果を踏まえ、(9)の「最終強化24か月体制」を加えたことが最大の修正項目である。そのスローガンは、「臨戦体制と不転退の決意」

であった。

強化対策と、その推移は次のとおり。

①昭和58年度総会で長期的・短期的な強化方針を確認した。

②入区分として、初動期(57～59)、対策期(60～62)、鍛錬期(63～元)、仕上期(2～4)の四段階とした。

③対策本部長、専任コーチから監督へと指導の一貫体制を堅持した。

④県外遠征や他県招聘など、友好県や大学との交流を行った。

⑤年次選手構想、候補選手の複数配置、県外有能選手導入など、選手の有効配置を検討した。

⑥学校や職場の理解、専用練習場の確保、開催時練習場の確保など、条件整備に努めた。

⑦他県選手の、開催前3年間の戦力分析。

⑧選手の意識高揚、全県挙げての期待と必勝の雰囲気づくり。

⑨最終強化24か月体制とした。

会場体育館の完成

石川国体の結果

前年の石川国体では、本番時を念頭においていた選手編成によりエントリーした。ベスト16位まで決定する大会1日目を終わり、全選手の勝ち残りは石川県と本県の2県だけ。

その後伸び悩みあつたが、最終位まで決定する大会1日目を終わり、全選手の勝ち残りは石川県と本県の2県だけ。直後に特別指定選手とコーチングスタッフを発表し、本部長、監督による指定選手の個別ヒアリングを実施した。

年内は、組手選手は他県有

じにもコンクリートの剥き出しにならぬなど、想像をはるかに超える県内最高の体育施設だった。天童市スポーツセンターに保管してあった

チーム専用練習場になると伝えられ、選手強化へ大きな弾みとなつた。天童市スポーツセンターに保管してあつた

林輝男先生(大阪府)に委嘱することを決めた。

東京都で最初の指導を受けた。

修に向け、各部門の研修に向け、専任コーチの必要性を助言され、

大阪府)に委嘱することを決めた。

早速、11月東京都で最

初の指導を受けた。

競技役員各部門の研

修に向け、専任コーチの必要性を助言され、

大阪府)に委嘱することを決めた。

上による運営視察団を派遣し、

競技役員養成のため資料を収集した。

これをもつて、やっと練習場探しの悩みから開放されたのである。



開催前年後半の特徴

石川国体終了後の強化本部会議では、成果と反省点を明確にしながら吟味総括し、次なる対策と構想を検討した。直後に特別指定選手とコーチングスタッフを発表し、本部長、監督による指定選手の個別ヒアリングを実施した。年内は、組手選手は他県有

じにもコンクリートの剥き出

しあなづなど、想像をはるかに超える県内最高の体育施設だった。

この体育館の剣道場を、わがチーム専用練習場になると伝えられ、選手強化へ大きな弾みとなつた。天童市スポーツセンターに保管してあつた

林輝男先生(大阪府)に委嘱することを決めた。

東京都で最初の指導を受けた。

修に向け、専任コーチの必要性を助言され、

大阪府)に委嘱することを決めた。

上による運営視察団を派遣し、

競技役員養成のため資料を収集した。

これをもつて、やっと練習場探しの悩みから開放されたのである。

このをもつて、やっと練習場探しの悩みから開放されたのである。

強化に入る。12月、初めて形アドバイスコーチの来県指導を受ける。以後、本部長は形アドバイスコーチ来県の都度、全日程行動と共にした。年内は県外遠征を控え県内練習に終始し、選手個別の弱点を補うよう取り組んだ。

開催年に入つて

元日早々、県主催の『総合優勝を誓つ会』が開催され、翌2日は空手選手団が大童市「建薫神社」で勝祈願を行ない、「必勝お札」を運動公園「剣道場」に大会終了まで掲げた。

1月以降の県外遠征は27回、対戦相手は12県だった。山形県強いが口伝てに広まり、会場視察を含め来県するチームが多くなり、4月以降の6か月間に8県が延べ10回訪れている。県外コーチの招聘は10回で16名だった。

3月以降は、特別指定選手は毎日午後、プール歩行やウエイトトレーニング、専用練習場（剣道場）での練習を開始した。所属の学校や職場から理解があつて可能のこと、当時の県内情勢も幸いした。夜間練習は、山形市内役員の道場を使用し、深夜に及んだことも度々であり、高校生選手の家族送迎の苦労もあった。メイン体育館には、備品として国体本番用の空手マットが納入されていた。しかし、

それまで使用したマットとメイカーレーが相違し、感触の違いがあつたが、大会時まで真新しいままで汚れを付けたくない気持ちから使用を控えた。

選手決定と東北地区総体

第1次予選会（県総体）を6月27日に、翌週の28日に指名した選手による最終予選会を実施した。7月3日に拡大強化本部会議を開催し、監督・コーチ、国体選手、東北総体選手、形試技選手、練習補助選手を発表した。指導陣は本部長、監督2名の他にコーチ3名に限定した。

この年の東北総体は、「国体選手をエントリーするかしないかの判断は、県運とする」と県から通達されたが、国体選手をフルエントリーし、最後の戦力分析と位置づけて臨み、5種目で1・2位を独占し、高得点で総合優勝をはたした。未だ不十分と思える種目選手について、以後の重点強化対象とした。

選手団名簿

国体時の強化担当者と選手団の氏名（旧姓のまま）と所属（当時）は次のとおり。

形試技や組手補助選手も、最後まで役割を全うされ感謝しました。

◎指導部門

強化本部長・飛鳥宗一郎（山形貯金事務センター）専任コーチ・田邊文博（日本大学空手部監督）男子監督・安達剛（安達接骨院）女子監督・深瀬久男（やまちゃん味噌）

コーチ・田嶺光雄（東南村山地方事務所）、菊地健治（新東京ボーリング）、小笠原博（東海大山形高校教諭）、佐藤晴美（天童高校教諭）、同中量級・斎藤彰宏（県スポーツ振興基金）、同重量級・飛鳥康弘（県総合運動公園）、同無差別級・瀬野利幸（川崎電気）、丸山秀人（川崎電気（株））、成年女子形・上妻千華（日本大学）、少年男子組手・吉田俊秀（東海大山形高校）、少年女子形・西堀裕子（天童高校）

◎形試選手

成年男子・佐藤規行（山形スリーエム（株））、成年女子・佐々木智佳（新庄コノンピュータ専門学校）、少年女子・白鳥佐知（東海大山形高校）

◎組手補助選手

成年・中村鉄也（日本大学）、草刈彰男（日本大学）、阿部太郎（日新技術コンサルタンクト）、中村和道（酒田南高等学校）、少年・五十嵐明（東海大山形高校）

獲得得点の自主目標

県競技力向上対策本部は、競技全体での天皇杯と皇后杯の優勝を目指していた。8月

下旬に実現可能と思われる入賞と得点の自主目標提出を求められた。空手道競技は、優勝3で男女総合62点（参加得点10点を含む）で第1位と算出し提出した。



天皇皇后両陛下のご観戦

8月初旬、「天皇皇后両陛下が空手道競技初日の10月5日にご観戦なされる」と官報に掲載された。空手道競技初めての出来事に、驚きながらも栄誉ある場面を遗漏なく迎えるために、準備態勢の全てを再点検し完全を期すよう努めた。なお、ご観戦は、山形市スポーツセンターの「体操競技」と2種目だけだった。

大会審判員

国体の審判員はその年のAランクから指名され、開催県事業も順調に進捗し、全国審判員有資格者が11名と東北最多大数となつた。



第37回県社会人選手権大会
○平成19年5月13日
○山形県武道館



↑第3回 樹氷杯ジュニア選手権大会 開会式

大會六分不ト

平成19年度

①山形県体組手	②山形県府B	③鶴岡五中
①金田奈央(株)丸秀	②渡辺曜子(山形県厅)	③米沢二中
①菊地裕(山形県厅)	②青木秀人(山形新聞左沢専売所)	②明倫中
③松永政和(サイクランド)松永	③組手個人(35歳以上の部)	①新庄中
①伊藤学(株)斎藤農機製作所	①斎藤一夫(山形県厅)	②女子団体組手
②泉慎史(THK)山形工場	②大戸次男(山形県厅)	③米沢一中
③舟越正(みずほ)	③本間慶(山形県厅)	②新庄中
▼形(女子)	④大場朗子(山形貯金センター)	③男子団体組手
①増川亮輔(米沢四中)	②渡辺曜子(山形県厅)	①新庄中
②木村光稀(米沢二中)	③舟越正(みずほ)	②女子団体組手
③男子個人組手(1年の部)	④平瀬昌人(三和年譜)株	③米沢一中
①増川亮輔(米沢四中)	⑤斎藤一夫(山形県厅)	②明倫中
②女子個人組手(1年の部)	⑥荒木成(新庄小)	①新庄中
①仙台士才(明倫中)	⑦佐林穂果(山大付幼)	②新庄中
②舟越正(みずほ)	⑧古瀬輝(鈴川小)	③鶴岡五中
③仙台士才(明倫中)	⑨飯塚郁美(泉小)	②山形県府B
▼形(男子)	⑩中村百花(浜田小)	③米沢二中
①松永政和(サイクランド)松永	⑪菅野敬太(鮎貝小)	②新庄中
②舟越正(みずほ)	⑫芦津穂沙希(北辰小)	③鶴岡五中
③舟越正(みずほ)	⑬大宮楓花(新庄小)	②山形県府B
▼形(男子)	⑭元木文平(本海小)	③米沢二中
①増川亮輔(米沢四中)	⑮早坂紫苑(鈴川小)	②新庄中
②木村光稀(米沢二中)	⑯阿部拓美(大山小)	③鶴岡五中
③男子個人組手(1年の部)	⑰竹田光希(本郷西小)	②山形県府B
①伊藤雅人(舟形中)	⑱形(小学男子3年生)	③米沢二中
②土田秀成(明倫中)	⑲古山花采(米沢万世小)	②新庄中
③佐々木梓(明倫中)	⑳菅原清か(山大付小)	③鶴岡五中
④國分大輔(新庄中)	㉑阿部拓美(大山小)	②山形県府B
⑤男子個人組手	㉒志田美咲(寒河江南南部小)	③米沢二中
⑥叶内翼也(日新中)	㉓形(小学男子4年生)	②新庄中
⑦男子団体形	㉔古山花采(米沢万世小)	③鶴岡五中
⑧男子団体形	㉕菅原清か(山大付小)	②新庄中
⑨男子団体形	㉖武田紗耶(鈴川小)	③鶴岡五中
⑩男子団体形	㉗志田美咲(寒河江南南部小)	②新庄中
⑪男子団体形	㉘長谷川慶武(大山小)	③鶴岡五中
⑫男子団体形	㉙梅津佑麻(滝山小)	②新庄中

▼形(小学女子4年生)
①国分桃香(新庄小)
②飛鳥有衣子(山形南小)
③齊藤辰尔(山形七小)
④竹保咲斗(山形七小)
⑤三沢エリ沙(戻王小)
形(小学男子5年生)
①伊藤希恵(日新小)
②井上夕希(新庄小)
③金沢未欧(鈴木小)
④古瀬未来(米沢西部小)
⑤田中寿美(米沢西部小)
形(小学男子6年生)
①佐藤成(朝陽一小)
②石井友薫(米沢南部小)
③小野景司(天童南部小)
④田沢大志(新庄小)
⑤菊池那奈(南平田小)
形(小学女子5年生)
①佐々木梢(沼田小)
②渡部友香(神町小)
③安藤咲希(八幡小)
④横山優太(長井北中)
⑤木村洋稀(米沢二中)
形(中学男子1年生)
①増川亮輔(米沢四中)
②佐藤喜介(鶴岡三中)
③仙台祐太(明倫中)
④早坂颯士(鮭川中)
⑤森凌斗(天童三中)
形(中学女子1年生)
①榮らる(日大山形中)
②安孫子沙季(山形十中)
③伊藤秀(日新中)
④仙台充功(明倫中)
⑤中里亮介(米沢七中)
形(中学男子2年生)
①坂上愛(舟形中)
②国分円香(新庄中)
③小林穂薰(新庄中)
④横田優奈(山形十中)
⑤(中学男子3年生)
形(中学女子3年生)
①土田秀香(明倫中)
②大泉泰士(日新中)
③石井大喜(米沢二中)
④佐野弘明(米沢四中)
⑤横田優奈(山形十中)
組手(小学男子3年生)
①斎藤誠比呂(朝陽一小)
②廣木駆(山形小)
③大隅響(余市三小)
④小野郁美(明倫中)
⑤本間亮人(齋小)
組手(小学女子3年生)

①武田紗耶(鈴川小) ②菅原清か(山大付小) ③五十嵐織(2條小) ④川又ア子(橋田小) ⑤内史也(曰新小) ⑥飯野慎也(米沢西部小) ⑦安部文弥(米沢南部小) ⑧叶内史也(曰新小) ⑨組手(小学女子4年生) ⑩組手(小学男子4年生) ⑪組手(小学男子5年生の部) ⑫組手(小学女子5年生の部) ⑬組手(小学男子5年生の部) ⑭組手(小学女子5年生の部) ⑮組手(小学男子5年生の部) ⑯組手(小学男子5年生の部) ⑰組手(小学女子5年生) ⑱組手(小学男子5年生) ⑲組手(小学男子6年生) ㉑元木貴(本合海小) ㉒佐藤賛智(宮の浦小) ㉓伊藤希(日新小) ㉔白田秋絵(本郷東小) ㉕星川南(浜田小) ㉖井上夕希(新庄小) ㉗金子裕哉(米沢上郷小) ㉘池田里花子(八幡小) ㉙飛鳥有衣子(山形南小) ㉚早川周(長井小) ㉛大河原司(豊田小) ㉜組手(小学女子5年生) ㉝組手(小学男子5年生) ㉞星川南(浜田小) ㉟組手(小学男子6年生) ㉟武田莉奈(鈴川小) ㉟古瀬遙花(鈴川小) ㉟嵐山有哉(米沢広小) ㉟石井友賀(米沢南部小) ㉟高橋祐衣(羽黒小) ㉟小野菜幹(泉小) ㉟増川亮輔(米沢四中) ㉟鈴木陵太(米沢二中) ㉟田中秀治(明倫中) ㉟組手(小学男子1年生) ㉟木村光稀(米沢二中) ㉟高橋千尋(米沢二中) ㉟阿部かおり(酒田五中) ㉟仙台丈子(明倫中) ㉟仙台丈子(明倫中) ㉟阿部かおり(酒田五中) ㉟伊藤秀(日新) ㉟伊藤秀(日新) ㉟瀬野大将(山形三中) ㉟佐藤麻美(新庄中) ㉟坂上愛(舟形中) ㉟組手(中学男子3年生) ㉟田中秀成(明倫中) ㉟田中秀成(明倫中) ㉟増川拓木(米沢四中) ㉟大泉泰木(日新中) ㉟佐野弘明(米沢四中) ㉟組手(中学女子3年生) ㉟佐々木香夏(山形三中)

第62回 国体 第34回 東北総体 県予選会	○平成19年7月8日
○県総合運動公園サブ 体育館	
▼少年少女組手	
①伊藤渚(水戸高)	②佐々木梓(明倫中)
②大内万佑花(金井中)	③荒川聰実(日新中)
③星川幸(酒田南高)	
④栗野舞(天童高)	
▼成年女子組手	
①浜谷紗季(日本大学)	②大沼智里(山形大学)
②大沼智里(山形大学)	③武礼奈(国学院大学)
③成年男子組手	
①浅野允玲(東海大・山形高)	②伊藤謙(酒田南高)
②伊藤謙(酒田南高)	③小野晴貴(酒田南高)
③小野晴貴(酒田南高)	
▼成年男子組手(軽量級)	
①伊藤翔(東京農業大学)	②渡部恒徳(日本大学)
②渡部恒徳(日本大学)	③渡辺愛士(山形大学)
③渡辺愛士(山形大学)	
▼成年男子組手(中量級)	
①伊藤翔(東京農業大学)	②佐藤義則(日本大学)
②佐藤義則(日本大学)	③青山忠之(山形大学)
③青山忠之(山形大学)	
▼少年女子形	
①伊藤渚(天童高)	②大場美紀(天童高)
②大場美紀(天童高)	③海藤佳奈(新庄北高)
③海藤佳奈(新庄北高)	
▼成年女子形	
①大場奈津律(やまのべ整形外科)	②大沼智里(山形大学)
②大沼智里(山形大学)	③大場朗子(主婦)
③大場朗子(主婦)	
▼少年男子形	
①伊藤功貴(酒田南高)	②斎藤力耶(酒田南高)
②斎藤力耶(酒田南高)	③皆本和馬(山形中央高)
③皆本和馬(山形中央高)	
▼成年男子形	
①加藤葵(帝京大学)	②大場洸志(山形短期大学)
②大場洸志(山形短期大学)	③吉永太郎(千葉工業大学)
③吉永太郎(千葉工業大学)	
▼少年女子組手	
①伊藤渚	②伊藤渚
②伊藤渚	③伊藤渚
③伊藤渚	
▼少年男子組手	
①伊藤渚	②伊藤渚
②伊藤渚	③伊藤渚
③伊藤渚	
▼成年女子組手	
①伊藤渚	②伊藤渚
②伊藤渚	③伊藤渚
③伊藤渚	
▼少年女子形	
①伊藤渚	②伊藤渚
②伊藤渚	③伊藤渚
③伊藤渚	
▼少年男子組手	
①伊藤渚	②伊藤渚
②伊藤渚	③伊藤渚
③伊藤渚	
▼成年女子組手	
①伊藤渚	②伊藤渚
②伊藤渚	③伊藤渚
③伊藤渚	
▼少年男子組手	
①伊藤渚	②伊藤渚
②伊藤渚	③伊藤渚
③伊藤渚	
▼大沼智里	
①大沼智里	

▼ 成年男子形
① 鈴木主大
▼ 少年男子団体戦
③ 山形県
▼ 成年女子団体戦
③ 山形県
▼ 成年男子組手（軽量級）
① 鈴木主大
② 松永政和（サイクリングマツナガ）
② 上野薫（サイクリングマツナガ）
▼ 高校男子個人形
① 伊藤功貴（酒田南高）
② 斎藤力耶（酒田南高）
③ 高橋直起（鶴岡工業高）
③ 村真（東海大山形高）
③ 森山玲（天童高）
③ 大場美紀（天童高）
③ 木口歩子（酒田南高）
▼ 一般：高校女子個人形
① 伊藤渚（天童高）
② 森山玲（天童高）
③ 伊藤翔（東京農大）
③ 伊藤翔（青藤農業）
▼ 一般男子個人組手有段A
① 原田昇平（日本大学）
② 滝花諒（東北学院大）
③ 伊藤翔（東京農大）
③ 伊藤翔（青藤農業）
▼ 一般男子個人組手有段B
① 池田将（山大工学部）
② 林崎明義
▼ 高校男子個人組手
① 浅野允玲（東海大山形高）
② 小野晴貴（酒田南高）
③ 佐々木優太（東海大山形高）
③ 伊藤眞太郎（酒田南高）
▼ 一般高校女子個人組手
① 沼谷紗季（大山形高）
② 斎藤友貴（南陽高）
③ 伊藤眞太郎（酒田南高）
▼ 一般男子団体組手
① 崇武館本部
② 尾浦空手道スポーツ少年団
③ 山形工業高
▼ 男子総合
① 米沢市空手道スポーツ少年団「嵐」
② 新庄市空手道スポーツ少年団
○ 平成19年10月7日
○ 天童高校体育館
少年少女スポーツ交流大会
空手道競技

▼男子団体戦

①空手会主手道スボーツ少年団
②新庄市空手道スボーツ少年団
③米沢市空手道スボーツ少年団
④寒河江市空手道スボーツ少年団
⑤大田原市空手道スボーツ少年団
⑥余自空手道スボーツ少年団

▼男子個人形

①小野晟司(天童市)
②清水稀(宗武館)
③市川広樹(米沢市)
④横田駿介(宗武館)

▼女子個人形

①佐々木梢(新庄市)
②伊藤希惠(新庄市)
③金沢奈苗(宗武館)
④深瀬晶子(鈴川深瀬道場)

▼4年生男子組手

①飯野慎也(米沢市)
②荒井薰(鈴川深瀬道場)
③大江尚哉(鈴川深瀬道場)
④中村翔太(米沢市)

▼5年生男子組手

①木谷裕哉(米沢市)
②瀬野将安(達道場双葉)
③安部敦志(川西町)
④中村和磨(莊空館)

▼6年生女子組手

①石井友喜(米沢市)
②元木貴(新庄市)
③嵐田友哉(米沢市)
④田沢大志(新庄市)

▼4年生女子組手

①國分桃香(新庄市)
②大内佑美香(安達道場双葉)
③竹俣咲穂(安達道場双葉)
④池田里花子(酒田市)

▼5・6年生女子組手

①小林未紗(新庄市)
②武井奈奈(鈴川深瀬道場)
③井上夕希(新庄市)
④古瀬蓮花(鈴川深瀬道場)

▼男子形(小学1年生)

①原田駿(赤湯小)
②荒木翔太(新庄小)
③古山新汰郎(松ヶ岬保育所)
④竹俣海帝(山形七小)
⑤男子形(小学2年生)

①荒木成(新庄小)
②渡部玲(日新小)
③今野裕吾(朝陽二小)
④深瀬雅大(鈴川小)



○平成19年9月30日～10月2日
 ○にかほ市家潟大会

▼成年男子組手（軽量級）
 鈴木大丈（1回戦敗退）

▼成年男子組手（中量級）
 成年男子組手（中量級）

▼伊藤翔（3回戦敗退）
 成年男子組手（重量級）

▼安達善成（2回戦敗退）
 成年男子形

▼加藤葵（1回戦敗退）
 少年男子組手

▼浅野允玲（2回戦敗退）
 成年女子組手

▼渋谷季美（2回戦敗退）
 成年女子形

▼大場奈津美（1回戦敗退）
 少年女子組手

▼伊藤渚（1回戦敗退）
 成年男子組手団体戦

▼山形県（1回戦敗退）
 大場奈津美（1回戦敗退）

第3回樹水杯シニア選手権大会

○平成20年2月24日

○県総合運動公園総合体育馆

▼小学4年生男子個人組手
 小学4年生男子個人組手

▼小学4年生男子個人組手
 小学4年生男子個人組手

▼小学5年生男子個人組手
 小学5年生男子個人組手

▼小学5年生男子個人組手
 小学5年生男子個人組手

▼小学6年生女子個人組手
 小学6年生女子個人組手

▼小学6年生女子個人組手
 小学6年生女子個人組手

▼中学1年生男子個人組手
 中学1年生男子個人組手

▼中学1年生男子個人組手
 中学1年生男子個人組手

▼中学1年生女子個人組手
 中学1年生女子個人組手

▼中学2年生男子個人組手
 中学2年生男子個人組手

▼中学2年生女子個人組手
 中学2年生女子個人組手

▼小学5・6年生女子団体組手
 小学5・6年生女子団体組手

▼中学生男子団体組手
 中学生男子団体組手

▼中学生女子団体組手
 中学生女子団体組手

▼①崇武館新庄支部
 ②安達道場

▼①崇武館新庄支部
 ②崇武館新庄支部

▼③深瀬道場

▼①崇武館新庄支部
 ②崇武館新庄支部

▼③坂上愛功（崇武館新庄支部）
 ③伊藤秀（崇武館新庄支部）

▼①国分円香（崇武館新庄支部）
 ②小林徳廉（崇武館新庄支部）
 ③坂上愛功（崇武館新庄支部）
 ③伊藤秀（崇武館新庄支部）

▼①小学5・6年生男子団体組手
 ②崇武館新庄支部

▼①崇武館新庄支部
 ②崇武館新庄支部



秋田わか杉国体報告

監督 安達 剛

とき／平成19年9月30日(日)～10月2日(水)
場所／秋田県にかほ市象潟体育館

今回の国体は秋田県で開催されました。宿泊は酒田市になりましたので、大会期間中、酒田から国体会場への移動のため、気分的に国体としての盛り上がりにかけた大会となりました。会場は東北大会等でも使用している体育館で、いつも通りの試合ができると思っていましたが、残念ながら力を出し切れず不本意な成績となりました。

【試合内容と今後の課題】

- 「少年男子形」浅野允玲は初めての国体であったが、自分の組手をやることができず敗退した、これからはパワー、スピード共に兼ね備える為に筋力トレーニングが必要である。突きと蹴りのコンビネーションの技を出せる様、試合経験を積むことである。
- 「少年女子形・組手」伊藤渚は高校生としての最後の大會なので、入賞をめざし練習して試合に望んだが、力及ばず結果を残せなかつた。卒業後は練習できる環境を確保し
- 「成年女子形」大場奈津実は最後の国体なので、悔いの残らないように試合に望んだが力及ばず敗退した。長い間、山形県の選手としてがんばってくれました。これから新しい目標に向かつて空手道を続けてほしい。
- 「成年男子形」加藤葵は初めての国体であったが、大学での練習は組手が中心なので、形をする時間が少なかつた為に、敗退した。これからは自分で時間をみつけて、基本動作、技の極め、スピード、緩急、試合を想定しての練習をやることが課題である。

て、空手道を続けてほしい。

●「中量級」伊藤翔は就職活動の為、練習する時間が少なかつたが、2回戦を勝ち進み、3回戦で敗退した。卒業後、社会人になつても、練習時間

を確保して、突き技を中心に戦うに、スピード、パワー、試合での駆け引き等が今後の課題である。

●「重量級」安達善也は今年の国体が最後なので、入賞をねらつたが、練習時間を持つように取れず、1回戦は勝ち進んだが、2回戦で敗退した。

これまで12年間、国体選手として連続出場し、優勝、入賞して、山形県のレベルの高さを示してくれた。これからは指導者として、これまでの経験を生かして、全国で活躍できるトップアスリートを育てほしい。

●「軽量級」鈴木主大は東北総体で優勝したときと同じように、自分の組手をやれば、入賞できる可能性はあった。これからは特に、筋力トレーニング、技を仕掛けるタイミング、メンタル面を強化する必要がある。

ても続けた選手が全国でも活躍している。そして、大学、一般になり継続して練習すれば、全国でも優勝、入賞できること可能性がでてくる。

これからはジュニアを強化して全国で通用する選手に育てていきたい。そして、イン

ターハイ、国体、世界大会等で、優勝、入賞することをイメージして空手道を続けて山形県の選手として活躍してほしい。

トップアスリートになることを夢で終わらせない為には、「夢に向かつて練習を始めた時から目標になります。」中

学生、高校生になつてからも続けて、強化部で実施している強化練習に参加し、選手、指導者が同じ目標に向かって

やれば、新しい道が開きます。選手の皆さんには、無限の可能性があるので、目標が達成できるよう前進して下さい。



▲国体最後の勇姿、安達選手お疲れさまでした。

指定形講習会 及び 公認段審査会

普及部が実施する事業の一
つである講習会については、
平成18年度で実施した第一指
定形「クーシャンクー」と「三
一セーシー」をもって一通り
終了したので、今年度は指導
者を対象とした講習会を平成
19年4月29日、山形市総合ス
ポーツセンター武道場において
実施しました。内容は、ト
レーニング指導士の長崎克己
氏（べにばな国体スピードス
ケート五百メートル第三位入賞）
による「効果的なトレーニン
グ方法について」及び、飛鳥
宗一郎県連会長（教士八段）
による「中小学生に対する指
導方法について」それぞれ指
導していただきました。受講
者は、一般が22名、高校3名、
計25名でした。

午後1時30分から4時までの
限られた時間でしたが、両講
師の指導方法が分かり易く、
受講生も熱心に受講されてお
りました。

講師お二方には、何かと多
忙なところ、親切にご指導い
ただき御礼申し上げます。

普及部としては、今後とも形
組手、トレーニング法など各
種の講習会を開催して空手道
の普及、向上に努めて行きた
いと考えておりますので、大
勢の会員の方々の参加を希望
いたします。

【指導者講習会】

【県公認段位合格者】

佐々木優太（東海山形高校）
市村 一真（東海山形高校）

■春季公認段審査会
5月13日（日）山形県武道館
12月16日（日）
県総合運動公園剣道場

高校・一般の部

青山 忠之（山形大学）
高橋 勇一（余目空友会）
伊藤いづみ（余目空友会）
千田 隆行（山形大学）
前田 直紀（崇武館本部）
佐藤 道幸（崇武館本部）

式段

高橋 直起（松濤館）
大場 洸志（空手道安達道場）
林崎 朋義（米沢市空手道スポ
一ツ少年団「風」）
鈴木 健司（米沢市空手道スポ
一ツ少年団「風」）
石井 宏之（米沢市空手道）
須佐 和紀（松濤館）
伊藤 正樹（和道会）
奥山 駿（天童高校）
浅野 充玲（東海山形高校）

初段

遠藤 隆夫（長井空手道連盟）
緑川 寿幸（拳和会館）
小座間寛人（深瀬道場）

四段位合格者 (本部審査会)

高橋 航平（尾浦空手道ス
一ツ少年団）
加藤 大貴（崇武館新庄支部）
菊池 那奈（余目空友会）

少年の部 初段

全国公認組手審判員合格者

■春季県審判員講習会 4月29日（日） 県総合運動公園剣道場
■秋季公認段審査会 12月16日（日） 県総合運動公園剣道場

山形県空手道連盟 YAMAGATA-KEN KARATEDO FEDERATION 000129



Topics
●指導者講習会・審判官講習会 4月19日(土)～20日(日)開催
●県公認段審査会 4月29日(日)開催
●県社会人選手権大会 5月11日(日)開催
●全国空手道選手権大会(3部) 審査会 5月11日(日)開催

山形県空手道連盟 公式ホームページ 開設しました！

- 沿革・規約・組織図・加盟団体一覧など県連のすべてがわかります。
- 最新ニュース・行事予定・大会成績などリアルタイムに情報発信します。

山形県空手道連盟

検索

<http://yamagataken-karatedo.jp/>



平成20年度 事業・行事計画

日 程	事 業・行 事	場 所	日 程	事 業・行 事	場 所
1 / 25 (金)	県連会計監査	県あこや会館	8 / 23 (土) ～24 (日)	第16回全国中学生空手道選手権大会	長崎県大村市
1 / 25 (金) ～27 (日)	東北高校選抜大会	秋田県能代市	8 / 22 (金) ～24 (日)	第35回東北総合大会	天童市スポーツセンター
2 / 2 (土)	武道功労賞受賞記念祝賀会	グランドホテル	9 / 6 (土)	東北地区地域スポーツ指導者講習会	仙台市武道館
2 / 3 (日)	平成20年度県空手道連盟常任理事会・総会	県スポーツ会館大会議室	9 / 6 (土)	1・2級資格審査員研修会	枇杷島スポーツセンター
2 / 24 (日)	樹氷杯ジュニア空手道選手権大会(第3回)	県総合運動公園アリーナ	9 / 7 (日)	公認コーチ・上級コーチ義務講習会	枇杷島スポーツセンター
3 / 22 (土)	公認4・5段審査会及び公認地区組手審判審査会	仙台市青葉区体育館	9 / 13 (土)	村山地区高校新人戦	天童高校
3 / 23 (日)	公認地区形審判審査会	仙台市青葉区体育館	9 / 19 (金)	第4回全日本障害者空手道競技大会	高知県立県民体育馆
3 / 25 (火) ～27 (木)	全国高校選抜大会	長野市真島アリーナ	9 / 20 (土) ～22 (月)	日本マスターズ2008空手道競技会	高知県立県民体育馆
3 / 28 (金) ～30 (日)	第2回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会	北海道北広島市総合体育馆	9 / 21 (日)	第41回県空手道選手権大会	南陽高校
4 / 20 (日)	審判員競技会総会・県審判員講習会・講習会	山形市スポーツセンター	10 / 4 (土)	第7回東北大学選手権大会・新人戦	宮城県武道館
4 / 29 (火)	第7回東北学生個人選手権大会	宮城県武道館	10 / 4 (土) ～ 6 (月)	第63回国民体育大会	大分県中津市
5 / 10 (土)	村山地区高校総体	東海大学山形高校	10 / 5 (日)	第16回県少年少女交流大会	天童高校
5 / 11 (日)	第37回社会人大会	東海大学山形高校(未定)	11 / 2 (日)	県高校総体新人戦	県総合運動公園
5 / 11 (日)	公認段位審査会(初段～三段)社会人大会終了後	県武道館	11 / 9 (日)	第19回県ジュニア選抜選手権大会・全中選抜県予選会	酒田市国体記念体育馆
5 / 11 (日)	第11回東北中学校選手権大会	宮城県武道館	11 / 29 (土)	公認6段審査会	大阪府立体育馆
5 / 18 (日)	山形市大会	山形市スポーツセンター	11 / 30 (日)	公認7段審査会	大阪府立体育馆
6 / 8 (日)	県高校総体	山形市スポーツセンター	12 / 7 (日)	県連審判講習会・公認段位審査会(初～三段)	県総合運動公園剣道場
6 / 1 (日)	全国小学生・中学生選手権大会山形県予選会	天童市スポーツセンター	12 / 13 (土) ～14 (日)	第36回全日本空手道選手権大会(団体戦) 第36回全日本空手道選手権大会	駒沢体育馆 日本武道館
6 / 22 (日)	東北大学総体	東北工業大学	1 / 23 (金) ～25 (日)	東北高校選抜大会	県総合運動公園アリーナ
6 / 27 (金) ～29 (日)	東北高校総体	福島県郡山市	3 / 1 (日)	樹氷杯ジュニア空手道選手権大会(第4回)	天童市スポーツセンター
7 / 6 (日)	国体・東北総体県予選会	県総合運動公園サブ体育馆	3 / 24 (木) ～26 (土)	全国高校選抜大会	東京体育馆
7 / 13 (日)	第26回県ジュニア選手権大会	山形市スポーツセンター	3 / 27 (金) ～29 (日)	第3回全国中学生空手道選抜大会	北海道北広島市総合体育馆
8 / 2 (土)	全日本少年武道錬成会	日本武道館			
8 / 5 (火) ～8 (金)	全国高校総体	埼玉県行田市			
8 / 9 (土) ～10 (日)	第8回全日本少年少女選手権大会	東京武道館			